

東北大学CSSI 東京セミナーシリーズ

公開シンポジウム「日本経済：富と貧困の蓄積」開催にあたって

[開催趣旨]

金融危機は、世界と日本の経済のあり方に根底からの疑問を突きつけました。グローバル化とは何であったのか。バブル崩壊後約20年を経て、日本社会の何が変わり、何が変わらなかったのか。金融危機後に新たな転換が生じるのか。このシンポジウムでは、グローバル資本主義と日本資本主義の構図を、「富と貧困の蓄積」をキーワードに論じていきます。パネリストには、この大テーマを論じるにふさわしい方々をお迎えしています。

[東京セミナーについて]

社会階層と不平等教育研究拠点（Center for the Study of Social Stratification and Inequality [CSSI]）は、「社会階層と不平等」に関する学術研究の拠点を形成するとともに、優れた若手研究者の育成を目指して、2003年、21世紀COEプログラムによって東北大学文学研究科内に設立された組織です。その実績を引き継ぎ、2008年度からは新たにグローバルCOEプログラムの助成を得て、その活動を世界的に展開するとともに、日本社会が直面している不平等や格差に関わる諸問題を、より広い観点から取り上げることも目指しています。東京セミナーシリーズは後者の活動を展開する企画として新たに設けられたものです。そのため、このセミナーシリーズは開催場所を東北大学東京分室に置き、大学外からも幅広く報告者を招いて、実践的・政策的課題にも近接した研究活動を行っています。今回の公開シンポジウムも、この目的に沿って開催されるものです。

2009年10月

東北大学「社会階層と不平等」教育研究拠点

東京セミナーシリーズ担当

野村正實（経済学研究科教授）

秋永雄一（教育学研究科教授）

川端 望（経済学研究科教授）

浜田 宏（文学研究科准教授）

今井 順（文学研究科 COE 特任助教）

松山 淳（経済学研究科博士課程後期）